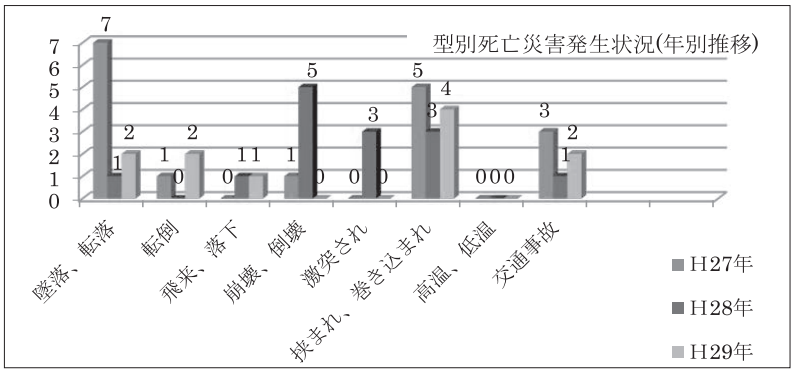
ヒヤリ・ハット事例

早いものであと四ヶ月で今年も終わります。暑さが少し収まり始めた頃から工事の件数も徐々に増え始め、最盛期を迎えます。工事を施工していく上で、どんなに注意していても付いてまわるのが労働災害です。残念ながら全産業で毎年多くの事故が報告されております。事故は起きてはなりませんが、些細な事が原因でも最悪な場合、死亡事故に繋がります。その事態を防ぐ為に『ヒヤリ・ハット報告書』というものがあります。現場従事者が各作業を行っていて、ヒヤリとしたこと、ハッとしたことについて報告してもらい、それについての問題点を考え、今後の対策を考えるというものです。日々施工を行う中で事故に繋がる要素は多々あります。当社でも昨年九月から今年八月までの一年間、各現場の担当者に施工中のヒヤリ・ハットを毎月報告してもらいまとめてみました。又、静岡県の建設業の平成二十九年七月までの死亡災害の発生状況も報告します。

【静岡県死亡災害発生状況】

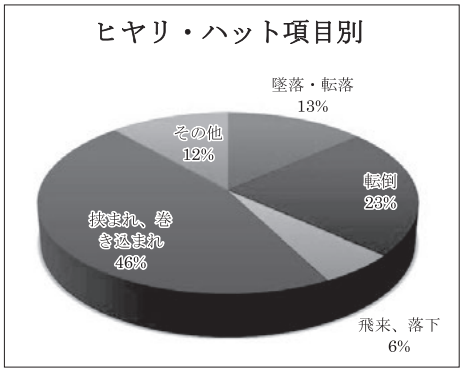
※平成二十九年七月三十一日迄



【増田組ヒヤリ・ハット集計】

※土木工事

集計で見ますと『挟まれ・巻込まれ』のヒヤリの報告が多かったです。製品据付け中の手・足の挟まれや重機への巻き込まれが目立ちました。次に多かったのは『転倒』です。ぬかるみや資材につまずいて等があげられていました。どれも事故にはなっていませんが実際起きれば重大事故に繋がります。最盛期を前にもう一度気を引き締めて施工へと移りましょう。又、危険行動を見かけたら注意して改善するようにしましょう。



ホームページアドレス

http://www.masudagumi1912.co.jp

カタログパーク http://www.hamaoka.or.jp/masuda.html

池新田高校インターンシップを迎えて

八月八日から八月十日の三日間で、池新田高校より二年生一名が当社へ就業体験で来る事になり、実際に現場に出ていろいろなことを体験してもらいました。

当社の各部の中を持ち回りで、一日目が土木部、二日目が建築部、三日目が施設課の順番で実施しました。

土木部の主な実習内容としては、測量を主体として体験してもらおうと、現在施工を行っています民間の造成現場を対象現場として実習を行いました。

まず、最初に構造物を施工するにあたって基本となる測量の丁張りの掛け方を体験してもらいました。現場では実際にレベルや光波測距儀を扱ってもらいましたが、初めての事というのもあってうまくいかなかったようですが、本人の持ち前のチャレンジ精神が発揮され懸命に取り組んでいました。

礼儀正しく、誰にでも臆することなく話しができ、自信にあふれていました。

その資質を大切にして社会に出ても物事にあたっては真摯に取り組んでほしいです。

暑い中での実習で普段教室での授業がほとんどで現場での就業体験は大変だったと思います。三日間と短い期間ではありましたが、この体験を通じて今後に役立ててもらえれば幸いと思います。本当にごくろうさまでした。

本人感想

インターンシップで増田組で働かせていただき、小さい頃から物を作ったりするのが好きで、建設業を選びとても自分の為になったインターンシップでした。実際に物を作ったりするのではなく、現場監督として場を仕切ると知りました。最初はとてもきつくて大変なのかなと思っていたけど大変だけではなくて、楽しく仕事が出来ていると思いました。光波測定器の使い方もある程度覚えることが出来て、将来建設業に入っても少しはやれる事が増えたと思います。教えて下さった人たちも優しくて、沢山の人に声を掛けていただき、とても楽しい、そして自分の為になったインターンシップでした。社会で生きていくのに最低限必要な知識、目上の人に対する姿勢を学ぶことが出来ました。仕事でのマナーや挨拶を当たり前にして人との信頼関係を持ち仕事に取り組んでいました。業者の人達とも仲が良くて、気持ちよく仕事をするには相手の事を考えて仲良くして、でも悪い時は言い合ったりするのが大切なんだと思いました。これから自分も社会に出て仕事をする時には、今回増田組でインターンシップをした事を忘れずに厳しくも楽しい仕事をしていきたいと思います。

父の肖像画をいただく

菊川市の画家であります鈴木麗華先生から父　増田義郎の肖像画を先日いただきました。

先生とは二十五年程前に当社の創業八十周年の記念事業として、新築した本社事務所のロビーに掲げる絵画を制作していただいたご縁からお付き合いが始まり、父が褒章をいただいた際も袋井建設業協会へ先生の絵を寄贈したりと、父は先生とのお付き合いをしてきました。

今般、先生からロビーに掲げられた絵を修復していただいたときに、父にはお世話になったので肖像画を描かせていただくというお話をいただき、完成したのでお持ちくださいました。

父は一昨年八十八歳で他界しましたが、七十歳過ぎのまだ現役で役職をこなしている父の姿が生き生きと描かれています。鈴木麗華先生ありがとうございました。

（社　長）

幸せに生きる

日本規格研究所㈱
鈴木兄一

皆さん、こんにちは。厳しい暑さが続いていますが、如何お過ごしでしょうか。と書き始めたところで、「猛暑日」、「真夏日」、「夏日」と天気予報で良く耳にしますが、その違いについて説明できないことに気づき調べてみました。気象庁のホームページによると、気象庁が発表する報道発表資料、予報解説資料などに用いる「解説用語」として、最高気温が三十五度以上の日を「猛暑日」、三十度以上の日を「真夏日」、二十五度以上の日を「夏日」、夕方から翌日の朝までの最低気温が二十五度以上になる夜のことを「熱帯夜」と定義されていました。暑い日が続いたり、ゲリラ豪雨など異常気象が続くと、地球温暖化による影響が現象として出現してきており、地球環境への負荷を軽減する努力を継続しなければいけないと思っています。さて、弊社では、国際規格であるISO（品質、環境、労働安全衛生など）の導入支援業務、事業継続計画（BCP）策定支援業務、リスクマネジメント導入支援業務に加えて、七月三日より保険代理店業務を開始しました。乗合代理店といって、生命保険十社、損害保険七社を取り扱う代理店です。乗合代理店の他に、保険会社一社のみを取り扱う専属代理店という形式もあります。乗合代理店のメリットは、必要な保障を準備するにあたり、複数の保険会社の商品を比較することが可能になることです。コスト面、保障面の比較が目に見えて検討できるメリットがあります。保障の種類は大きく分けて、会社向け保障、個人向け保障の二種類があります。会社を守るための保障で代表的なものとして、生命保険としては経営者に万一があったときに経済的に会社を守る事業者用保険、退職金積立を目的とした福利厚生プランの保険などがあります。損害保険としては業務遂行により生じる賠償責任に備える賠償責任保険、国の労災保険を充実して社員を守る業務災害保険、社用車の自動車保険などです。個人向け保障として、生命保険としては老後に備える個人年金保険、万一のときにも保険金が受け取れ、万一が無く無事老後を迎えたときにも解約返戻金を受け取れる終身保険、掛け捨ての定期保険、入院に備える医療保険などがあります。損害保険としては、自宅の火災保険、他人の財物に対する個人賠償責任保険、自家用車の自動車保険などがあります。必要な保障は会社であれば規模、業種によっても異なりますし、個人であれば家族構成、収入、持ち家か賃貸住宅かによっても異なります。会社であっても個人であっても、それぞれの必要な保障内容を明確にして、その上で保険に加入することが大切です。払い込む保険料を計算すると、意外と高額になってしまいますので、本当に必要な保険に加入しているのか知ることが大切です。まずは現在の保障内容を把握し、必要な保障を明確にして、その差分を解決するためにどうするかといったコンサルティングを受けることをお勧めします。

今日は何の日？

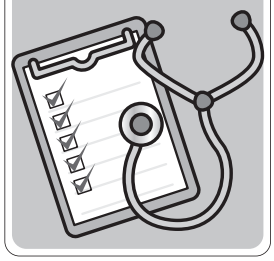
八月四日は戦争中の学童疎開第一陣が行われた日です。

当時政府は、空襲による被害を少なくするために、都市群に住む子供たちを周辺の農村部などに疎開させました。一九四四年から東京、大阪などの大都市で始められ、その後、地方の都市でも実施されるようになりました。

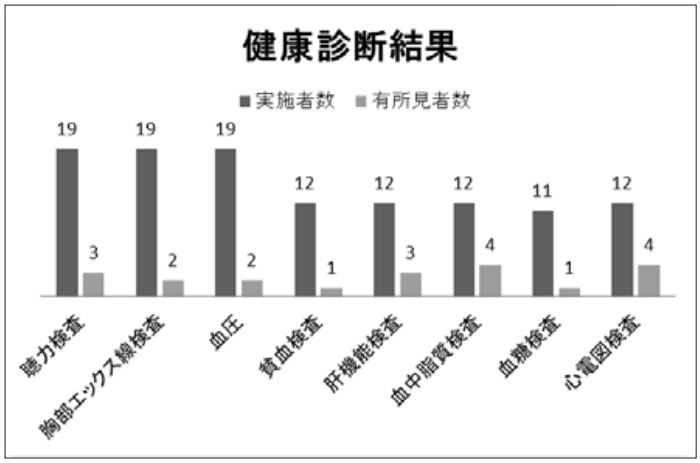
私もそうですが、今の日本では本当に考えられないことで、祖父や祖母が子供のころ現実に行われていたと聴かされ、平和は当たり前じゃないと思った記憶もあります。今日では、北朝鮮を始め、火種になりそうな国が多数あります。

今一度戦争を思い出し、戦争を起こさない、起こさせない努力をしたいです。

健康診断結果



安全週間中に健康診断を実施し、結果が出ました。尿検査以外は、各項目において有所見者が見受けられました。自分の健康は自分でしか守れません。今回指摘があった人は、病院を受診しましょう。



チャレンジラリー150

今年も八月七日から一月三日までのチャレンジラリー150に参加します。無事故・無違反を達成できるように日頃から安全運転に心掛けていきましょう。

消防団協力事業所

当社では、七月に消防団協力事業所に認定されました。今回を機に社内規定を整備し社員の消防団活動へ積極的に参加できるようにしました。

9月安全努力目標

年度安全標語《みんなで決意　みんなで努力　前進させよう職場の安全》
全国労働衛生週間準備期間《9/1～9/30》
秋の全国交通安全運動《9/21～9/30》

作業安全
- 熱中症予防対策の実施
- 作業足場の確保と適正な設置

交通安全
- 車間距離をとりゆとりある運転

環境目標
- プリンター・コピーの印刷ミスをなくしましょう

平成二十九年
全国労働衛生週間
準備期間 9/1～9/30
本週間 10/1～10/7

行事記録（7/27～8/26）

7/27 技士会袋井地区技術発表会並びに第一回技術者講習会・袋井
7/28 御前崎市建設業組合バーベキュー大会
8/1 静岡銀行会長・頭取就任のごあいさつの会・掛川
8/2 御前崎市・御前崎市建設業組合勉強会
8/4 高校生会社説明会
8/5 御前崎みなと夏祭
8/8、8/10 インターンシップ学生受け入れ
8/8、8/9 建設業経理事務士特別研修・静岡
8/9 親子現場見学会
8/11、8/15 夏季休業
8/18 静岡県交通基盤部・経済産業部表彰式及び技術者講習会・浜松
8/22 登録解体工事講習・袋井
8/24 御前崎市商工会理事会

行事予定（8/27～9/26）

8/27 地域防災訓練
8/28 金鵄の会交流会
8/29 袋井土木事務所・中遠林事務所工事等表彰式・工事現場安全衛生講習会・袋井
タクミ企画㈱十周年記念コンペ・菊川
シーテック安全衛生協議会
8/30 ㈱御前崎草木処理センター株主総会
平成二十九年度県下一斉情報伝達訓練
8/31 静岡県交通基盤部技術管理課・工事検査課との技術研修会・浜松
塩谷立君と明日の日本を語る会・浜松

すべての人がよくなる 誠熱創決 意
発行　増田組
TEL ○五三七ー八六ー三二四五
FAX ○五三七ー八六ー六六七五
Email masudagumi1@mail.wbs.ne.jp
URL http://www.masudagumi1912.co.jp